R&Dフェーズ｜開発　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#C02

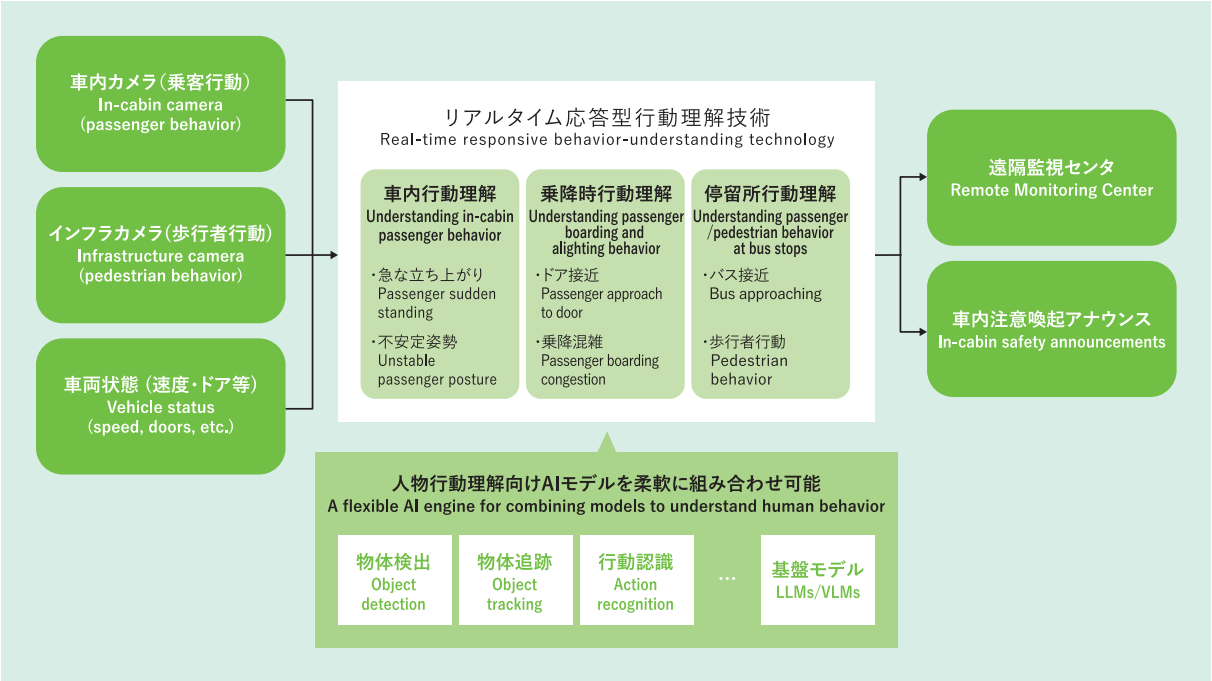
#DX・AX（デジタル変革）#地方創生

自動運転バス車内における不安全行動理解技術

バス乗客の行動を認識し、乗客の不安全行動の検知・通知することで車内の安全確認を支援します

技術課題・ゴール

自動運転バスの無人運行拡大には、車内・乗降時の安全確保が不可欠です。既存技術では複数の映像を並列かつリアルタイムに処理し、行動が事故リスクとなるかを即時に判断することは困難です。人の行動と車両状態から危険を予測・検知する技術を確立し、事故の未然防止と遠隔監視の効率化、安全な無人運行の普及を実現します。



技術ポイント

要素技術

・多人数・多カメラ映像から人物の状態・行動を即時に把握し、事故リスクを判断するリアルタイム応答型行動理解技術
・複数映像ストリームの並列処理により、多台数の遠隔監視を可能とするGPU推論アーキテクチャ

市中技術差異点

・複数の人物行動理解向けAIモデルの組み合わせにより、交通安全上の事故リスクにつながる行動を即時判断
・市中VLMでは困難な複数映像ストリームの並列処理により、自動運転バスの多台数遠隔監視を実現

適用ビジネス/ユースケース

交通・運輸

自動運転バス・公共交通分野において、車内や停留所周辺の映像と車両状態から、転倒やドア挟み込み等につながる不安全行動をリアルタイムに検知して、遠隔監視員に通知。遠隔監視員による複数台の安全監視業務を支援し、安全な無人運行を実現します。

出展組織

NTT株式会社 テクノロジーイノベーションセンタ